



金楽寺

学校通信 第16号
令和2年12月4日
尼崎市立金楽寺小学校
校長 中根 孝介

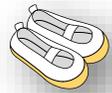
当たり前のことを当たり前

金楽寺小学校では、学校での生活目標を、年間の目標と毎月の目標を子どもたちに示して、よりよい学校生活を送ることができることをめざしています。

年間目標は、「元気よく あいさつをしよう」です。「**あ**かるく **い**つも **さ**きに **つ**づけて」できるよう、日々声をかけていくようにしています。12月は、年末・学期末でもあるので、「**学**校を**う**つくしく**し**よう」ということで取り組んでいます。

「あいさつをする」「学校を美しくする」どちらも、当たり前のことかもしれませんが。私たちの身近にはこうした当たり前のことはたくさんあります。例えば・・・

- ・ゴミはゴミ箱に捨てる
- ・脱いだ服をたたむ
- ・脱いだ靴をそろえる
- ・廊下は静かに歩く
- ・使ったものを片づける
- ・次の授業の準備をしておく
- ・前日に時間割をあわす
- ・歯磨きをする



ことなどです。



こうしたことは、はじめは難しくても、やり方さえわかっしまえばそう難しいことはありません。でも、「当たり前のことを当たり前のように」「簡単なことを簡単に」実行することは、そうたやすいことではありません。できない理由は??「忘れていたから」「めんどくさいから」「どうせ誰かがやってくれるから」「〇〇さんもしていないから」等々いろいろですが、本当にできないものなのでしょうか?・・・・・・・・・・いいえ、そんなことはありません。

習慣は変えることができます。「生活習慣病」という言葉
を定着させ、100歳をこえてもなお現役医師として活躍
された日野原重明氏(2017年没)も同様の言葉を述べられて
います。

12月の生活目標

学校を美しくしよう

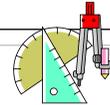


生活に限らず、学習や運動などでもよい習慣を身につけるためには、本人のちょっとした努力が必要です。はじめは、本人が意識をして実行しなければいけません。それを続けていると、いつの間にかそれが当たり前のことになり、努力しなくてもできるようになります。そこで習慣が身についたということになるのです。まさしく「習慣は変えることができる」のです。



特に、子どもがよい習慣を身につけるためには、周囲の大人の支えも必要です。よい環境（道具や雰囲気）を準備する、声かけをする、励ます、努力を認める、ほめる、大人がよい見本を見せるなど、学校でも根気よく取り組んでいきたいと思います。ご家庭でもご協力をよろしくお願いします。

～あまっ子ステップ・アップ調査～



先日、尼崎市教育委員会からのお手紙でもお知らせしたように、9日（水）に「あまっ子ステップ・アップ調査」を実施します。全学年、国語と算数の学習内容と生活実態についての様子についての調査です。子どもたちの成長を育み、学びをきめ細かに支援するために、尼崎市の全公立小中学校行っています（中学校は3学期に実施）。今年度は3年目となり、これまでの結果と比較して、子どもたちの伸びと課題が把握できるようになっています。個人の結果は3学期にお知らせします。学校でも、調査結果を活用しながら、さらに子どもたちの育ちにつなげてまいります。ご協力よろしくお願いします。

～新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの感染予防～

全国各地で新型コロナウイルス感染症が広がりを見せています。今年は、マスク着用率が高いためか、インフルエンザの流行は抑えられるのではないかという見解もあるようですが、油断はできません。今後、どちらも広がる可能性もあるので、今後も動向を注視し、感染拡大防止に努めていきたいと思えます。

新型コロナウイルスに関しては、感染拡大防止のため、本人はもちろん、ご家族がPCR検査を受ける段階で、児童は出席停止とすることになりましたので、早め早めの学校への連絡をお願いいたします。また、これまで通り、毎日の検温と体調観察をお願いいたします。

すでに各メディア等で報道もされている通り、新型コロナウイルス感染症については、兵庫県知事からもメッセージが出されています。下記の仮URLから、ご覧いただけますので、ご一読ください。

(仮URL) <https://web.pref.hyogo.lg.jp/>